

### (3) 三島村のむかしがし

#### ①しせきや記ねんひ

三島村には，むかしのようすを伝えてくれるものやたてももの（しせき），村の人びとのためにつくしてくれた人を記ねんするための記ねんひなどが見られます。

ア．それぞれの島にあるしせき

##### ・ひじりだいみょう 聖大明神社（竹島）

島の西がわにあります。中には鏡が5面と仏ぞうが数体あります。入り口にある「かいじし」が神社を守っています。



聖大名神社

##### ・あんとくてんのう 安徳天皇のはか（硫黄島）

三島小中学校の東にあります。げんじ源氏に負けて硫黄島にきたへいけ平家の安徳天皇と天皇とかんけいの深い人のはかがあるといわれています。



安徳天皇のはか

##### ・くまの 熊野神社（硫黄島）

硫黄島のみなとのすぐ北にあります。むかし，平氏にこの島に流されたしゅんかん俊寛たちが，早く帰ることをいのってたてられたといわれています。



熊野神社

##### ・ろくじぞう 六地藏（竹島）

竹島のあみだ堂どうあとにあります。高さは，だいたい2mあります。ささのうちにうまっていたものを1970年（昭和45年）にほりおこして組み立てました。



六地藏

くろ おだいみょう  
・黒尾大明神社（黒島）

大里地区にあります。400年ぐらい前にたてられました。海での安全をまもる神様がまつられています。



黒尾大明神社

・イバドンのほか（黒島）

片泊にあります。「イバドン」というのは、かまくらから黒島の平家をたおしにきた源氏のさむらいです。弓の名人で、「大庭<sup>おおば</sup>どん」とよばれていましたが、いつの間にかイバドンになりました。



イバドンのほか

しせきをしらべましょう

- ・しせきがある場所や、そのゆらいについてしらべましょう。

イ. それぞれの島にある記ねんひ

それぞれの島の学校や地いきには、学校がたてられたことやどうろができたこと、島ができたことなどを記ねんしてたてられた記ねんひがあります。



それぞれの島にある記ねんひ

記ねんひをしらべましょう

- ・自分の島のどこに記ねんひがあるのか、どのようなことを記ねんしてたてられたのかをしらべましょう。
- ・記ねんひがたてられたころのようすを地いきの人に聞きましょう。